

(3) 長崎県農林技術開発センター

ながさき黄金 (ばれいしょ「西海37号」)

1. 来歴

地方番号	長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
西海37号	長系132号	愛系151	T04051-14	西海35号×西海33号

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で4日早く、秋作では9日早い。茎長は春秋作とも「ニシユタカ」より長く、熟性は中晩生である。皮色、肉色とも黄色、でん粉価は春作・秋作とも14%前後で高い。上いも重は春作で347kg/a、秋作で222kg/aと少収である。平均1個重は春作で79g、秋作で76gとMサイズが中心となる。機能性成分であるカロテノイドを含み肉色は黄色で、蒸しいもはや粉質で、ナッツフレーバーを有し、食味は良い。フレンチフライおよびチルド適性がある。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスに抵抗性を有し、青枯病に強い病虫害複合抵抗性系統である。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 ¹⁾	品種系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個重 (g)	上いも重		規格別割合(%) ²⁾					でん 粉価 (%)	腐敗 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S		
春作	ながさき黄金 (西海37号)	3.14	49	1.8	中晩生	7.1	79	347	82	1	12	35	39	14	14.6	5.4
	ニシユタカ	3.18	40	1.6	中晩生	5.1	134	421	100	20	39	25	13	3	11.2	0.3
秋作	ながさき黄金 (西海37号)	9.26	47	2.1	中晩生	4.6	76	222	91	0	3	15	45	37	13.6	1.2
	ニシユタカ	10.05	38	2.1	中晩生	3.3	115	245	100	7	19	31	30	14	10.0	0.4

注1) 春作マルチ栽培：平成19～27年の平均値、秋作普通栽培で平成18～27年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g
秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種系統名	ストロン の長さ	塊茎			裂開 (%)	二次 生長(%)
			皮色	形	目の 深淺		
春作	ながさき黄金 (西海37号)	中	黄	短卵	浅	微	0.6
	ニシユタカ	短	淡ベージュ	短卵～球	やや浅	少	0.3
秋作	ながさき黄金 (西海37号)	やや短	黄	短卵～球	浅	微	0.1
	ニシユタカ	短	淡ベージュ	短卵	やや浅	少	0.5

表3 調理特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種系統名	蒸しいも			
		肉色	肉質	食味	黒変
春作	ながさき黄金 (西海37号)	黄	やや粉～粉	良	微
	ニシユタカ	淡黄	中	やや否	微
秋作	ながさき黄金 (西海37号)	黄	やや粉	良	微
	ニシユタカ	淡黄	中	やや否	微

表4 病害虫抵抗性

品種系統名	ジャガイモ	そうか病	青枯病	疫病	ジャガイモYウイルス	
	シストセンチュウ				0系統	N系統
ながさき黄金 (西海37号)	抵抗性	中～やや弱	強	やや弱	抵抗性	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	中	弱	感受性	感受性

ばれいしょ「西海40号」

1. 来歴

地方番号	長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
西海40号	長系139号	愛系186	T07011-12	愛系158×アイユタカ

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で3日早く、秋作では6日早い。茎長は春秋作とも「ニシユタカ」と同程度、熟性は中晩生である。皮色は淡ベージュで、肉色は淡黄、でん粉価は春作で11.5%、秋作では9.4%でやや低い。秋作では裂開の発生がみられる。上いも重は春作で417kg/a、秋作で357kg/aと多収であり、平均1個重は春作で135g、秋作で136gと大きい。蒸しいもの肉質は中～やや粘で、食味は中である。

ジャガイモシストセンチュウ、ジャガイモYウイルスおよびジャガイモXウイルスに抵抗性を有し、青枯病に対しても中程度の抵抗性を有する。貯蔵中の腐敗も少ない。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 ¹⁾	品種系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個 重 (g)	上いも重		規格別割合(%) ²⁾					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	西海40号	3.16	45	2.0	中晩生	4.9	135	417	101	25	37	24	11	3	11.5
	ニシユタカ	3.19	40	1.7	中晩生	5.2	129	412	100	17	38	27	14	3	11.3
秋作	西海40号	9.28	45	2.9	中晩生	4.1	136	357	134	14	29	29	19	9	9.4
	ニシユタカ	10.04	44	2.2	中晩生	3.9	110	284	100	8	17	31	29	14	9.6

注1) 春作：平成22～27年の平均値、秋作：平成22～27年の平均値

注2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g

秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	短卵	やや浅	少	0.1	0.7	淡黄	中	やや否
秋作	西海40号	やや短	淡ベージュ	球～短卵	浅	微	3.1	0.0	淡黄	中～やや粘	中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	短卵	やや浅	少	0.3	1.4	淡黄	中～やや粘	やや否

表3 病虫害抵抗性

品種系統名	ジャガイモ				ジャガイモ	
	シストセンチュウ ¹⁾	そうか病 ²⁾	青枯病 ³⁾	疫病 ⁴⁾	Yウイルス ⁵⁾	Xウイルス ⁶⁾
西海40号	抵抗性	やや弱	中～やや弱	やや弱	抵抗性	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	やや弱	弱	感受性	感受性

注1), 5) (地独)道総研による判定結果

注2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

注6) DNAマーカーにより判定

ばれいしょ「長系142号」

1. 来歴

長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
長系142号	愛系190	T07048-25	ながさき黄金×長系131号

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で同等、秋作では3日早い。茎長は「ニシユタカ」より春作では長く、秋作では同程度である。熟性は中晩生である。皮色は淡ベージュで目の部分は赤みを帯びる。肉色は明黄、でん粉価は春作で12.9%、秋作で11.5%である。秋作では二次生長の発生がみられる。上いも重は春作で362kg/a、秋作で262kg/aで「ニシユタカ」より低収であり、平均1個重は春作で124g、秋作で109gとやや小さい。蒸しいもの肉質はやや粉質で、食味は春作・秋作ともにやや良である。フライ適性がある。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスに抵抗性を有し、青枯病に対してやや強である。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 ¹⁾	品種系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個 重 (g)	上いも重		規格別割合(%) ²⁾					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	長系142号	3.19	53	1.6	中晩生	4.7	124	362	88	17	35	29	15	3	12.9
	ニシユタカ	3.19	40	1.7	中晩生	5.2	129	412	100	17	38	27	14	3	11.3
秋作	長系142号	10.01	44	2.0	中晩生	3.8	109	262	92	4	18	28	35	15	11.5
	ニシユタカ	10.04	44	2.2	中晩生	3.9	110	284	100	8	17	31	29	14	9.6

注1) 春作：平成22～27年の平均値、秋作：22～27年の平均値

注2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g

秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン 長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	短卵	やや浅	少	0.1	0.7	淡黄	中	やや否
秋作	長系142号	短	短ベージュ(赤)	球	浅	少～中	0.1	1.2	明黄	やや粉	やや良
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	短卵	やや浅	少	0.3	1.4	淡黄	中～やや粘	やや否

表3 病害虫抵抗性

品種 系統名	ジャガイモ				ジャガイモ
	シストセンチュウ ¹⁾	そうか病 ²⁾	青枯病 ³⁾	疫病 ⁴⁾	Yウイルス ⁵⁾
長系142号	抵抗性	中～やや弱	やや強	弱	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	やや弱	弱	感受性

注1), 5) DNAマーカーにより判定

注2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

ばれいしょ「長系147号」

1. 来歴

長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
長系147号	愛系214	T09030-30	T06033-3×ながさき黄金

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で2日早く、秋作では4日早い。茎長は「ニシユタカ」と春作・秋作で同等である。熟性は「ニシユタカ」より早い早生である。皮色は淡ベージュである。肉色は淡黄、でん粉価は春作では11.7%、秋作では9.5%で「ニシユタカ」並である。春作では二次生長の発生がみられる。上いも重は春作で452kg/a、秋作で285kg/aで「ニシユタカ」並であり、平均1個重は春作で148g、秋作は112gで「ニシユタカ」に比べ春作では大きく、秋作では小さい。春作では3L、2Lの階級中心となる。蒸しもの肉質は中～やや粘質、食味は中～やや良である。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルス抵抗性を有し、青枯病に対しても中程度の抵抗性を有する。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 ¹⁾	品種系統名	出芽期 (月、日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個 重 (g)	上いも重		規格別割合(%) ²⁾					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	長系147号	3.17	40	1.4	中生	4.8	148	452	103	34	34	20	9	3	11.7
	ニシユタカ	3.19	40	1.7	中晩生	5.2	133	440	100	18	42	26	11	3	11.9
秋作	長系147号	10.01	43	2.2	中生	3.9	112	285	103	8	16	27	35	14	9.5
	ニシユタカ	10.05	41	2.2	中晩生	3.6	117	277	100	9	17	31	28	14	9.4

注1) 春作：平成24～27年の平均値、秋作：24～27年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g

秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
春作	長系147号	中	淡ベージュ	球～短卵	極淺	微	0.1	2.9	淡黄	中	中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球～短卵	淺	少	0.1	0.8	淡黄	やや粘～中	やや否
秋作	長系147号	やや短	淡ベージュ	球～短卵	極淺	微	0.9	0.2	淡黄	中～やや粘	中～やや良
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球形	淺	少	0.4	1.0	淡黄	やや粘～中	やや否

表3 病害虫抵抗性

品種 系統名	ジャガイモ シストセンチュウ ¹⁾	そうか病 ²⁾	青枯病 ³⁾	疫病 ⁴⁾	ジャガイモ Yウイルス ⁵⁾
長系147号	抵抗性	やや弱	中	弱	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	中	弱	感受性

注1), 5) DNAマーカーにより判定

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

ばれいしょ「長系150号」

1. 来歴

長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
長系150号	愛系226	T10083-2	T07102-17×愛系172

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で4日早く、秋作では5日早い。茎長は「ニシユタカ」より春作では長く、秋作では同等である。熟性は「ニシユタカ」より遅い晩生である。皮色は淡ベージュで、塊茎によって、目の部分はわずかに紫色を帯びる。肉色は淡黄、でん粉価は春作では12.8%、秋作では10.5%で「ニシユタカ」より高い。秋作では裂開の発生がみられる。上いも重は春作で377kg/a、秋作で297kg/aで「ニシユタカ」に比べ多収であり、平均1個重は春作で105g、秋作では114gで「ニシユタカ」よりやや小さい。蒸しいもの肉質はやや粘質～中、食味は中～やや良である。

ジャガイモシストセンチュウ、ジャガイモYウイルスおよびXウイルス抵抗性を有し、青枯病に対しても強、疫病には真性抵抗性遺伝子R2を有し、抵抗性である。

表1 生育・収量調査成績 (長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 ¹⁾	品種系統名	出芽期 (月, 日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個 重(g)	上いも重		規格別割合 (%) ²⁾					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	長系150号	3.15	42	2.2	晩生	5.5	105	377	91	7	16	33	32	12	12.8
	ニシユタカ	3.19	37	1.9	中晩生	4.9	133	416	100	19	41	26	12	3	12.2
秋作	長系150号	9.30	42	2.2	晩生	4.0	114	297	107	7	16	33	32	12	10.5
	ニシユタカ	10.05	41	2.2	中晩生	3.6	117	277	100	9	17	31	28	14	9.4

注1) 春作：平成25～27年の平均値、秋作：24～27年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g
秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果 (長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球形	浅	少	0.2	0.8	淡黄	やや粘～中	やや否
秋作	長系150号	やや短	淡ベージュ	球形	浅	微	2.5	0.1	淡黄	中	中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球形	浅	少	0.4	1.0	淡黄	やや粘～中	やや否

表3 病虫害抵抗性

品種系統名	ジャガイモ そうか病 ²⁾		青枯病 ³⁾	疫病 ⁴⁾	ジャガイモ	ジャガイモ
	シストセンチュウ ¹⁾	Yウイルス ⁵⁾			Xウイルス ⁶⁾	
長系150号	抵抗性	やや弱	強	強(R2)	抵抗性	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	中	弱	感受性	感受性

注1), 5) (地独)道総研による判定結果

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

6) DNAマーカーにより判定

ばれいしょ「長系153号」

1. 来歴

長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
長系153号	愛系240	T12018-9	西海40号×ながさき黄金

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で5日早く、秋作では10日早い。茎長は春作では「ニシユタカ」より長く、秋作では「ニシユタカ」並である。熟性は中生である。皮色は淡ベージュ、目の深さは中である。肉色は淡黄、でん粉価は春作で13.5%、秋作で13.4%である。上いも重は春作で385kg/a、秋作で244kg/aで多収であり、平均1個重は春作で116g、秋作で111gとやや大きい。蒸しいもの肉質は春作ではやや粘、秋作ではやや粉で、食味は春作・秋作ともにやや良である。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスに抵抗性を有する。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 ¹⁾	品種系統名	出芽期 (月.日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個 重 (g)	上いも重		規格別割合(%) ²⁾					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	長系153号	3.22	61	2.7	中生	5.0	116	385	103	10	38	31	18	4	13.5
	ニシユタカ	3.27	53	2.4	中晩生	5.2	108	375	100	10	34	31	19	6	9.6
秋作	長系153号	9.27	33	2.0	中生	3.2	111	244	118	3	17	35	31	14	13.4
	ニシユタカ	10.07	32	2.0	中晩生	2.8	111	206	100	5	17	37	28	13	9.9

注1) 春作：平成27年、秋作：平成26～27年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g

秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
春作	長系153号	中	淡ベージュ	球	中	微	0.0	0.0	淡黄	やや粘	中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球	浅	少	0.0	0.5	淡黄	やや粘～中	やや否
秋作	長系153号	やや短	淡ベージュ	球	中	微	0.6	0.2	淡黄	やや粉	やや良
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球	浅	少	0.2	2.0	淡黄	中	やや否

表3 病虫害抵抗性

品種系統名	ジャガイモ				ジャガイモ
	シストセンチュウ ¹⁾	そうか病 ²⁾	青枯病 ³⁾	疫病 ⁴⁾	Yウイルス ⁵⁾
長系153号	抵抗性	弱	弱	弱	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	中	弱	感受性

注1), 5) DNAマーカーにより判定

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

ばれいしょ「長系154号」

1. 来歴

長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
長系154号	愛系243	T12056-14	西海40号×愛系221

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で1日早く、秋作では8日早い。茎長は春作では「ニシユタカ」並、秋作では「ニシユタカ」より長く、熟性は中晩生である。皮色は淡ベージュ、肉色は白～淡黄、でん粉価は春作で12.4%、秋作で13.1%である。秋作では裂開の発生がみられる。上いも重は春作で340kg/a、秋作で259kg/aで多収であり、平均1個重は春作で98g、秋作で106gと「ニシユタカ」より小さい。蒸しいもの肉質は春作ではやや粘、秋作では中で、食味は春作ではやや否～中、秋作では中～やや否である。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスに抵抗性を有し、そうか病に対して中～やや弱である。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 ¹⁾	品種系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	平均 1個 重 (g)	上いも重		規格別割合(%) ²⁾					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	長系154号	3.26	54	2.4	中晩生	5.2	98	340	91	6	26	33	28	7	12.4
	ニシユタカ	3.27	53	2.4	中晩生	5.2	108	375	100	10	34	31	19	6	9.6
秋作	長系154号	9.29	38	2.5	中晩生	3.6	106	259	134	1	16	34	36	13	13.1
	ニシユタカ	10.07	32	2.0	中晩生	2.8	111	206	100	5	17	37	28	13	9.9

注1) 春作：平成27年、秋作：平成26～27年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g

秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	肉色	肉質	食味
春作	長系154号	やや長	淡ベージュ	球～短卵	中	微	0.8	0.8	白	やや粘	やや否～中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球	浅	少	0.0	0.5	淡黄	やや粘～中	やや否
秋作	長系154号	やや短	淡ベージュ	球～短卵	浅	微	2.2	0.2	淡黄	中	中～やや否
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	球	浅	少	0.2	2.0	淡黄	中	やや否

表3 病虫害抵抗性

品種系統名	ジャガイモ シストセンチュウ ¹⁾	そうか病 ²⁾	青枯病 ³⁾	疫病 ⁴⁾	ジャガイモ Yウイルス ⁵⁾
長系154号	抵抗性	中～やや弱	やや弱	弱	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	中	弱	感受性

注1), 5) DNAマーカーにより判定

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果